

# 一期生・二期生の先輩方の合格・内定体験記

## ◇ 鹿児島純心女子短期大学英语科

### 二期生:普通科(大隅中出身)

中学生の頃から、英語が話せるようになりたいもっと英語を勉強したいと思っていました。また高校1・2年生の頃には英語を学ぶことができる上級学校に進学したいと漠然と考えていました。そして、3年生になってから、本格的に県内外の専門学校や短大について調べ始め、貴学に興味をもつようになり、オープンキャンパスに参加しました。その際、英語科の1年次は全寮制で、その寮ではネイティブの先生と一緒に生活し、オンライン英会話という決まりがあることや、国内留学の体験ができることを知りました。

受験までに取り組んだことは、2年生の頃から、英検を取得するために英語の勉強を毎日し、また英検対策以外の英語の勉強にも力を入れました。そして3年生の夏休みには1ヶ月間、ホームステイをしました。入試では、たくさんの英語を使ってネイティブの先生と話をする形でした。ホームステイの経験のおかげで、コミュニケーションが上手くできました。

後輩の皆さんへ、何も決まっていな人いや悩んでいる人もいますかと思いますが、興味をもったり気になったりすることがあれば、早めに自分で調べ、先生方に相談してください。そして、将来は自分の好きなことを仕事にすることがいちばんだと思いますので、進路実現に向けて頑張ってください。

## ◇ 鹿児島県立農業大学校畜産学部酪農科

### 一期生:畜産食農科(五十市中出身)

宮崎県の農業大学校にするか最後まで悩みましたが、酪農科があるということで、鹿児島を選びました。鹿児島県立農業大学校の推薦条件の中で鹿児島県在住という項目があったため、一般で受験しました。

農業大学校では、飼養管理・搾乳技術・品種改良について専門的に学びます。将来は、その知識や技術を生かせる職場、具体的には酪農関係の牧場に勤めたいと考えています。

私と乳牛との出会いは、高校2年生の時に行われた家畜審査競技でした。その時、乳牛の美しさや優雅さに魅了されました。週末には都城農業高校酪農研究班で乳牛について学ぶことができました。また、北海道で行われた全国ホルスタイン共進会を見学し、酪農家になる意思を固めました。

鹿児島県は黒牛・黒豚が有名であり、まさに畜産王国です。しかし、農業就業者は減少の一途を

たどり、酪農家も廃業が相次ぎ、飼養戸数は10年前から半減、現在180戸余りです。朝夕の搾乳や飼養管理など1年365日休みがなく、また、乳価も低迷しています。「水より安い牛乳」と表現されるように、労働に対す報酬があまりにも低いのが原因だと考えます。

酪農を取り巻く環境は厳しいですが、「水より安い牛乳」を「生活に欠かせない牛乳」になれるよう、誇りを持って頑張りたいです。

後輩の皆さん、曾於高校には乳牛はいませんが自分がしたいと思うことを先生方に相談すれば親身になって対応してくれて助かりました。自分の夢を見つけ、相談してみたいかかでしょうか。

## ◇ 株式会社鹿児島銀行

### 二期生:商業科(財部中出身)

私は、高校2年生の時に、職場体験学習でお世話になったことがきっかけとなり、商業科で学んだ知識を活かせる銀行業務に興味をもちはじめました。さらに、人の役に立つことがしたく、鹿児島銀行は、九州トップの総合金融グループを目指し、広範囲の方々の生活を支えていることを知り志望しました。

3年生の4月から面接練習を始め、最初の頃は基本的な挨拶や入退室の練習をしました。就職に対する活動が本格的になったのは夏休みでした。ほぼ毎日学校へ登校し、履歴書作成や面接練習をしました。履歴書作成は、ミリ単位の線を引き、納得いくまで何度も書き直しました。面接練習は自分たちで先生方を回り、面接指導をしていただきました。

就職試験が近づくにつれ不安は大きくなり、気持ちが大きく揺れることもありましたが、進路に向けて頑張るクラスのみながいたからこそ自分も頑張ることができました。

また、2年生の時に就職先をどうするか悩んでいたところ、担任の先生に相談し、職場体験学習先を勧めてもらったり、アドバイスを頂いたりして、進路先を決めることができました。後輩の皆さん、家族や先生方に早めに相談し、しっかり進路を決めてください。

そして、私は今、会社から出された電卓練習や証券外務員2種という資格取得の勉強に取り組んでいます。内定を貰ったから終わりではなく、ここからがスタートです。これから私は、曾於高校の卒業生として頑張っていくので、後輩の皆さんも高校生活がより充実したものとなるよう頑張ってください。